

世田谷区地域経済発展ビジョン(別冊)

～「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」～

2024年(令和6年)3月

世田谷区

「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の考え方

概略

- 本資料は、「世田谷区地域経済発展ビジョン」の「目指す姿」ごとに、その実現に向けた道筋を「ロジックモデル」として整理するとともに、指標を設定し、産業分野や地域経済への影響・波及を捉え、政策全体の達成状況を測定・評価することで見える化するものです。
- 具体的には、各ロジックモデルにおいて、「目指す姿」の実現に向けた道筋や変化を象徴的に示す事象に対して指標を設定（参照：ソーシャルインパクト指標一覧）、測定、評価するとともに、「ソーシャルインパクト指標」として、全体を総合的に捉えた指数「持続可能な地域経済の充実度」について目標値を示し、取組みを進めていきます。（インパクト測定・マネジメント）

※ソーシャルインパクト指標：事業や活動の結果として生じた社会的変化や社会的な効果を測定し、分かりやすく伝えるための指標。個々の取組みによる「対象」の「変化」を捉え、「対象」や社会にもたらされる便益や変化を捉えるべく設定。

指標の策定の考え方

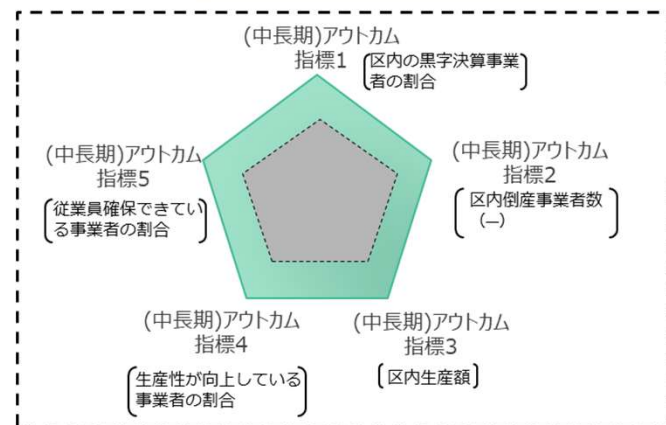
- 「目指す姿」が実現した（又は実現に近づいている）状態がどのような状態かという観点から、特に重要または象徴的な事象や要素を抽出し、そこに至る変化の道筋を導出しています。あくまで「目指す姿」の実現度合いを象徴的に測定するものです。
- 「きっかけとなる変化と取組例」に記載の行動変容に対して寄与のある施策を「取組み例」及び「行動指標」として記載しています。また、「変化の状況（短期アウトカム）」は、個々の「注目する対象」がどう変化するか、「変化の状況（中長期アウトカム）」は、「注目する対象」を集合体として捉えた場合にどう変化するかという観点から設定しています。
- 社会経済情勢の変化は激しくスピードも速いため、その変化やニーズを踏まえた考え方の取り込みや新たな施策の構築等が今後ますます不可欠です。「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」においても、「世田谷区地域経済発展ビジョン」の方向性の下、運用しながらその考え方や指標の取り方を定期的に検証し、必要に応じた見直し・改善を図り、考え方や手法の確立に取り組んでいきます。
- なお、各ロジックモデルの「指標」のうち下線を引いている指標は、世田谷区基本計画及び実施計画において位置づけられている指標と同一のものを指しています。

指標

成果指標名	単位	現状値	中間目標値	最終目標値
		令和5年度	令和9年度	令和13年度
持続可能な地域経済の充実度※	ポイント	100	130	135

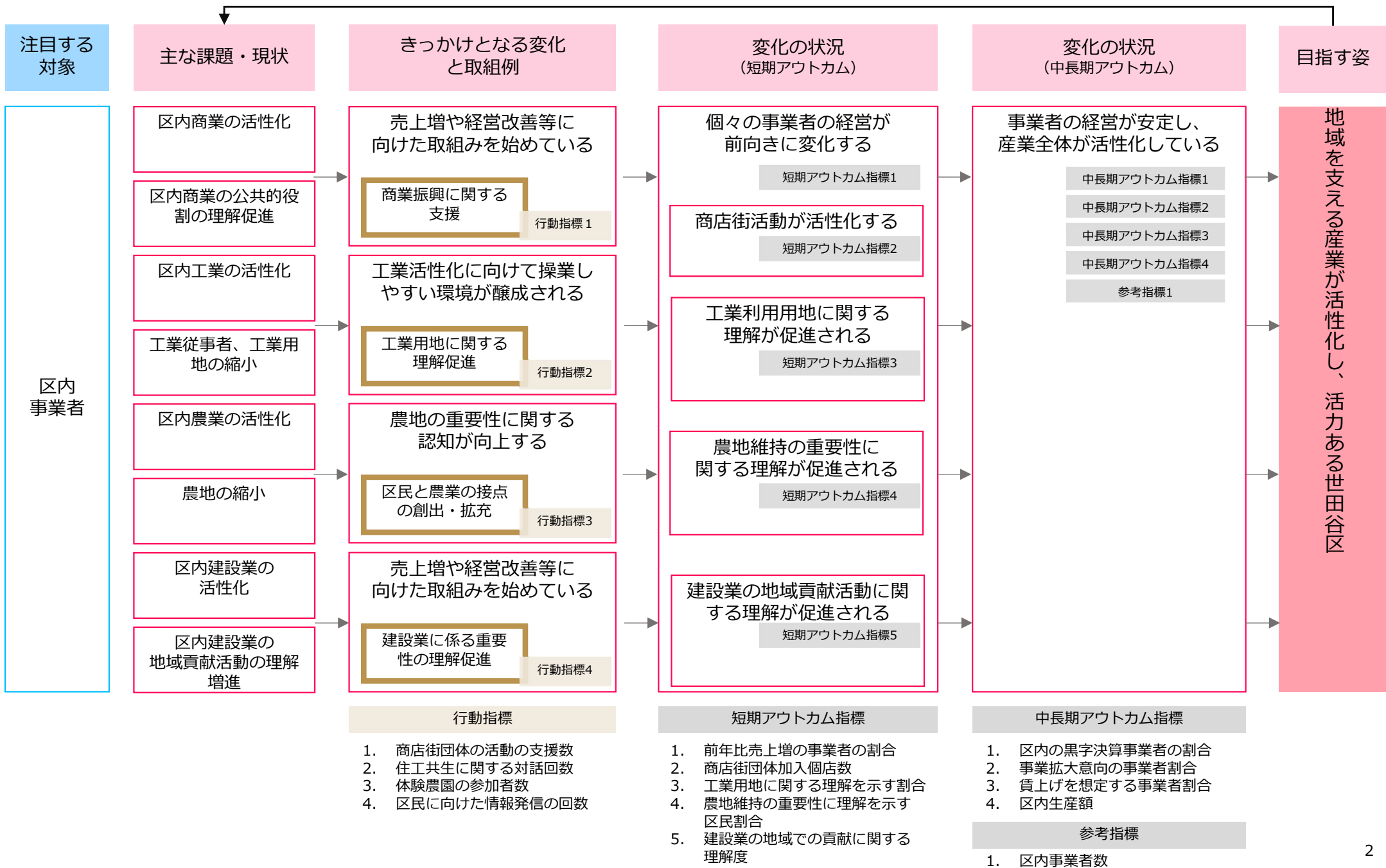
※「ソーシャルインパクト指標一覧」における「中長期アウトカム」から算出

イメージ



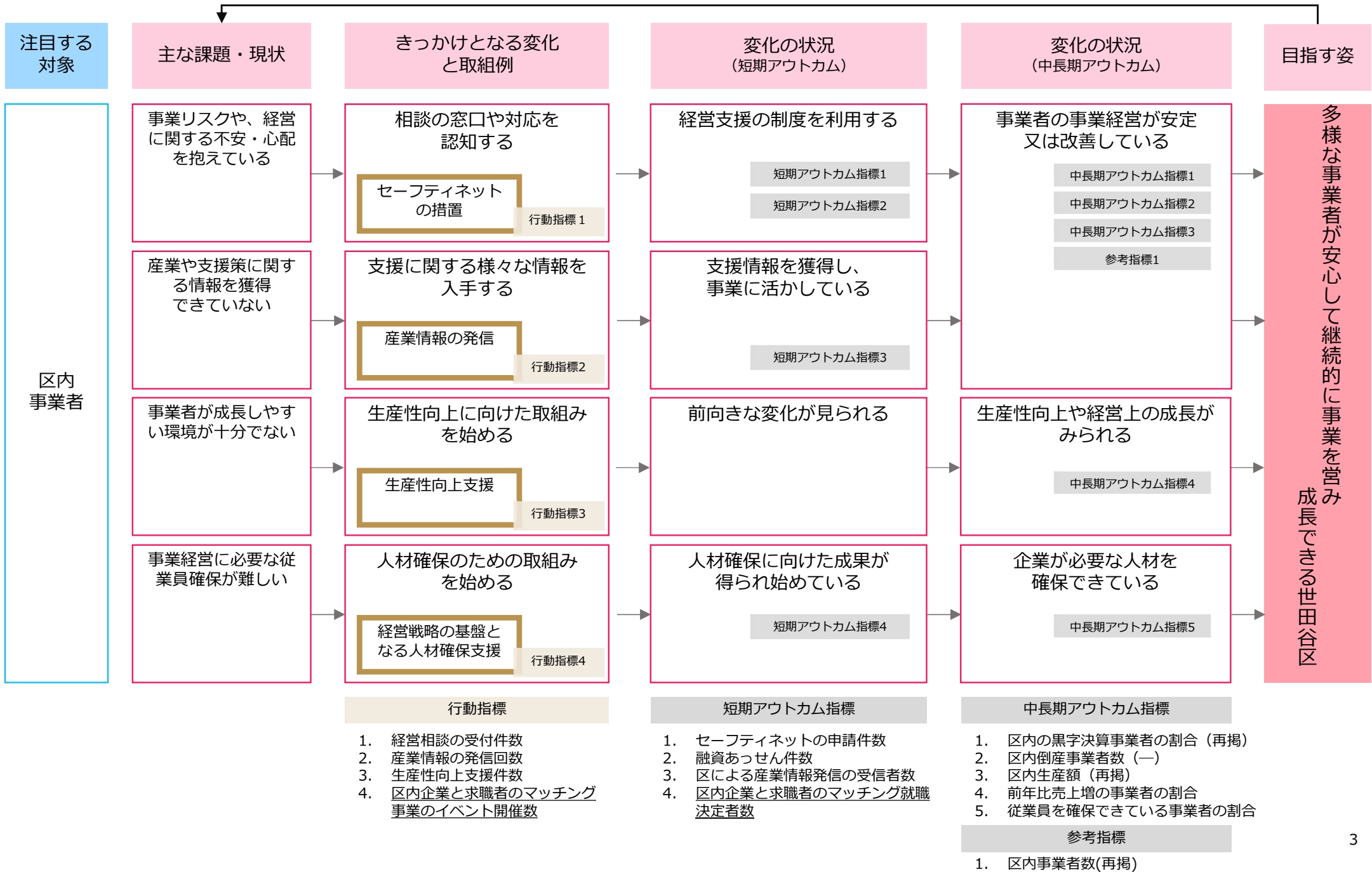
基本方針1
目指す姿1

区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る
区内産業が活性化し、活力ある世田谷区



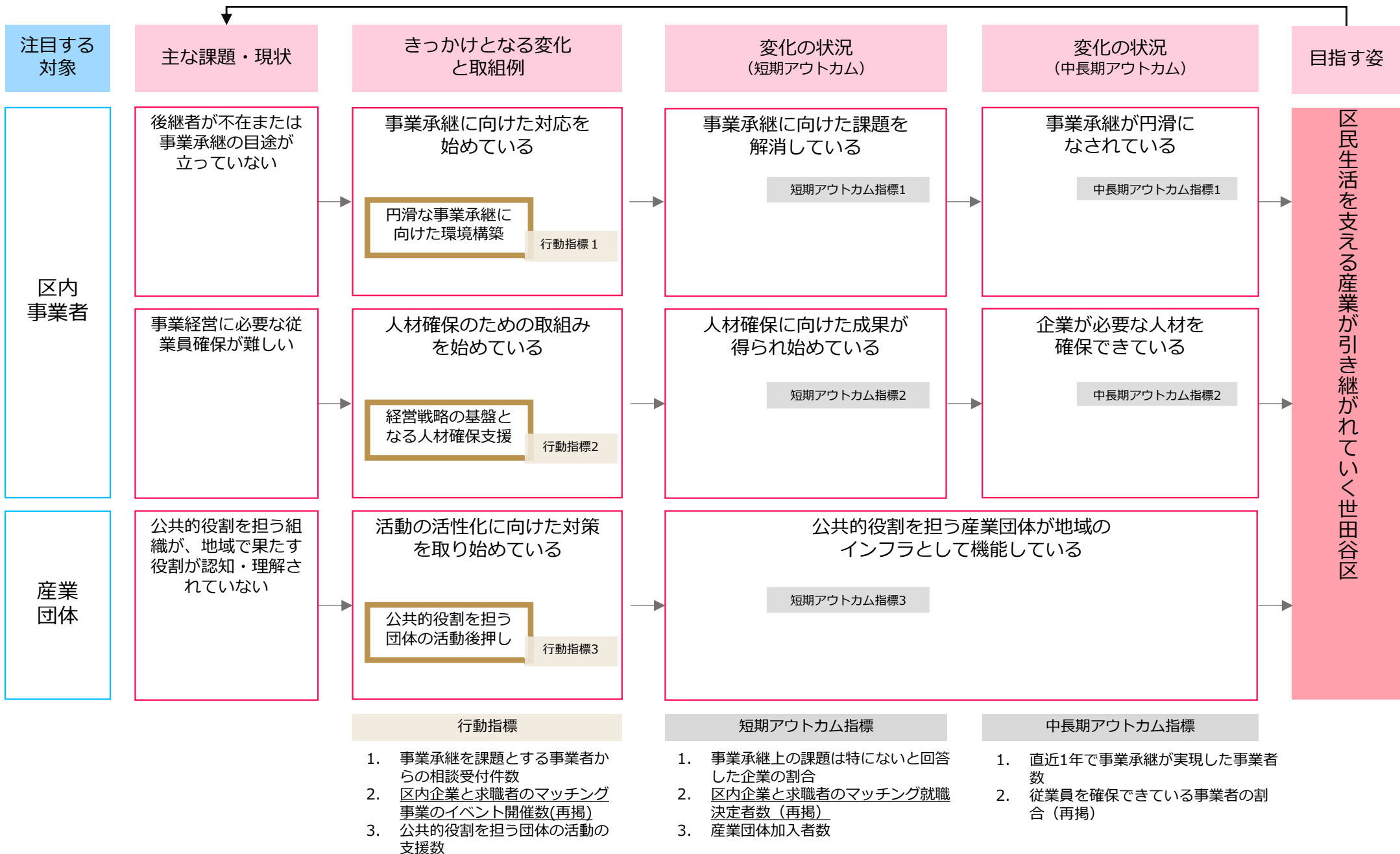
基本の方針1
目指す姿2

区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る
多様な事業者が安心して継続的に事業を営み成長できる世田谷区



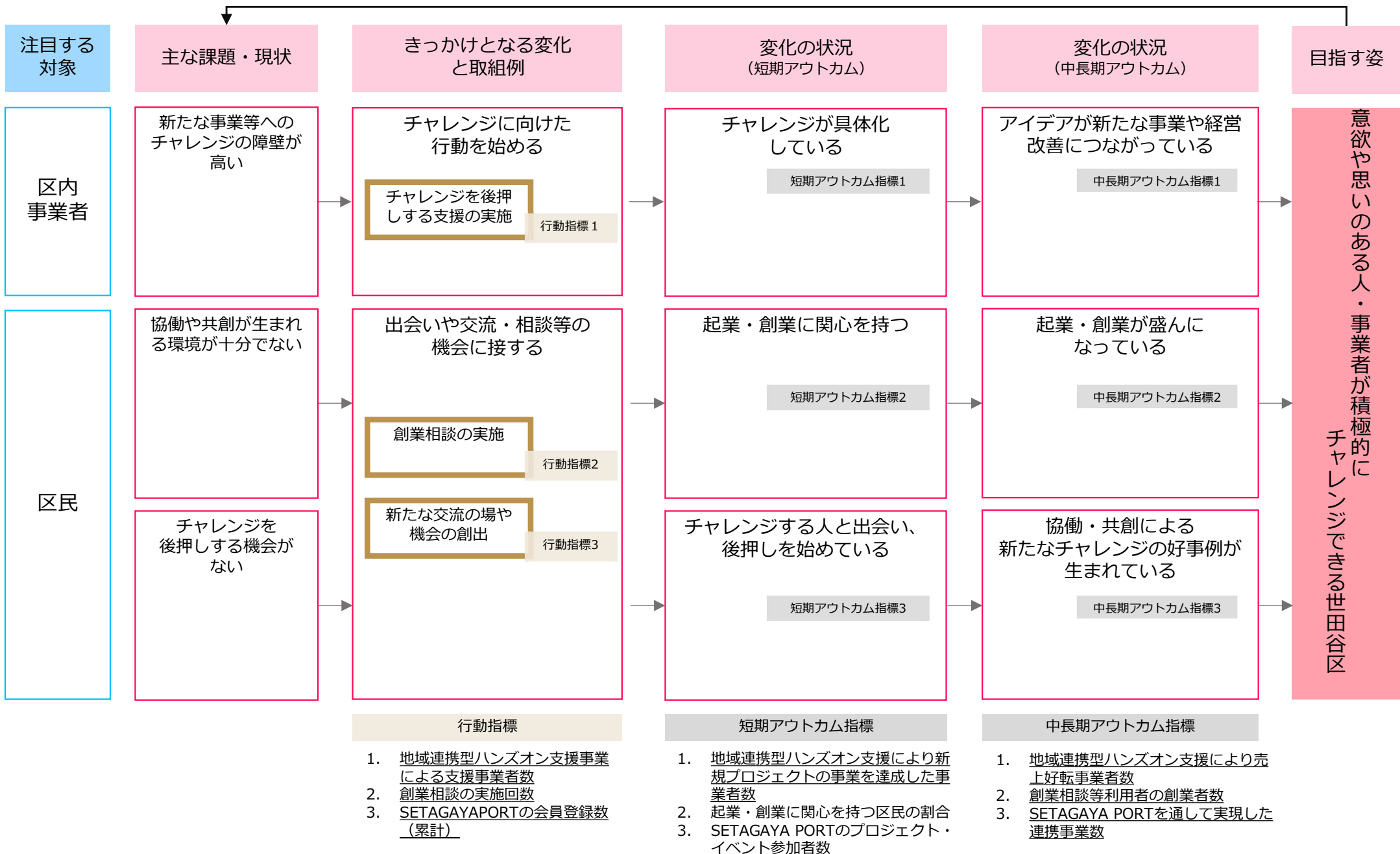
基本の方針1
目指す姿3

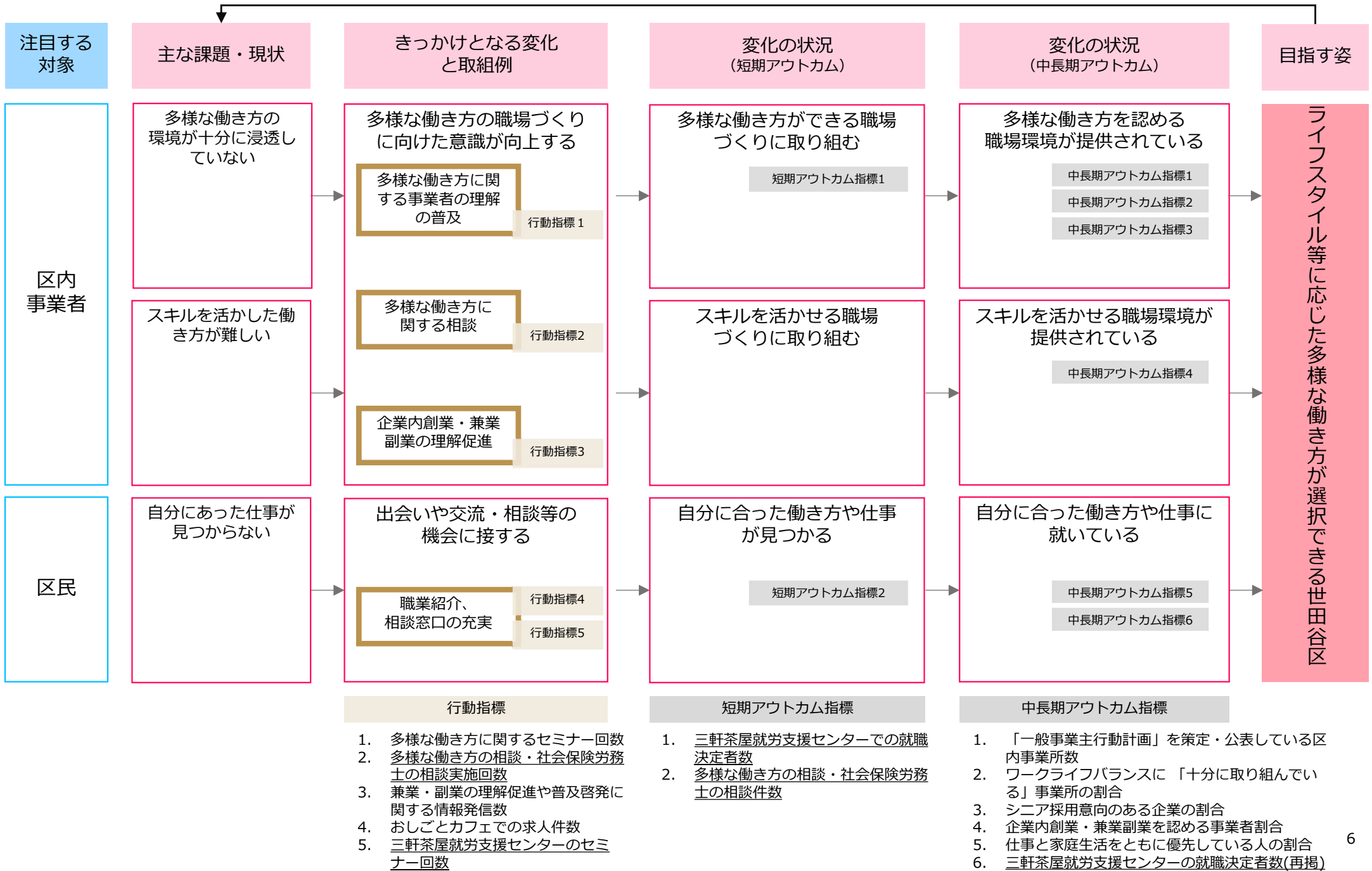
区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る
区民生活を支える産業が引き継がれていく世田谷区

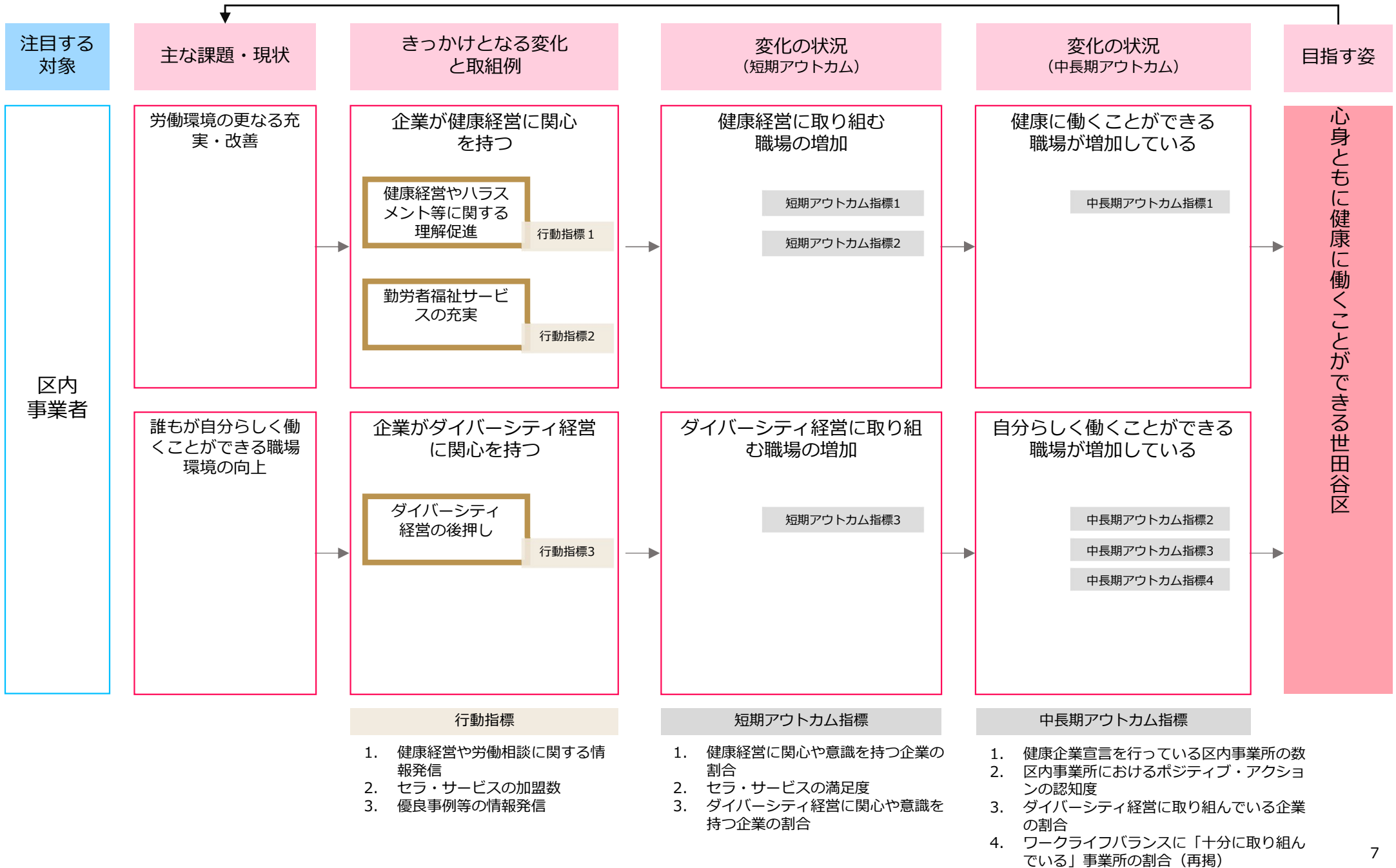


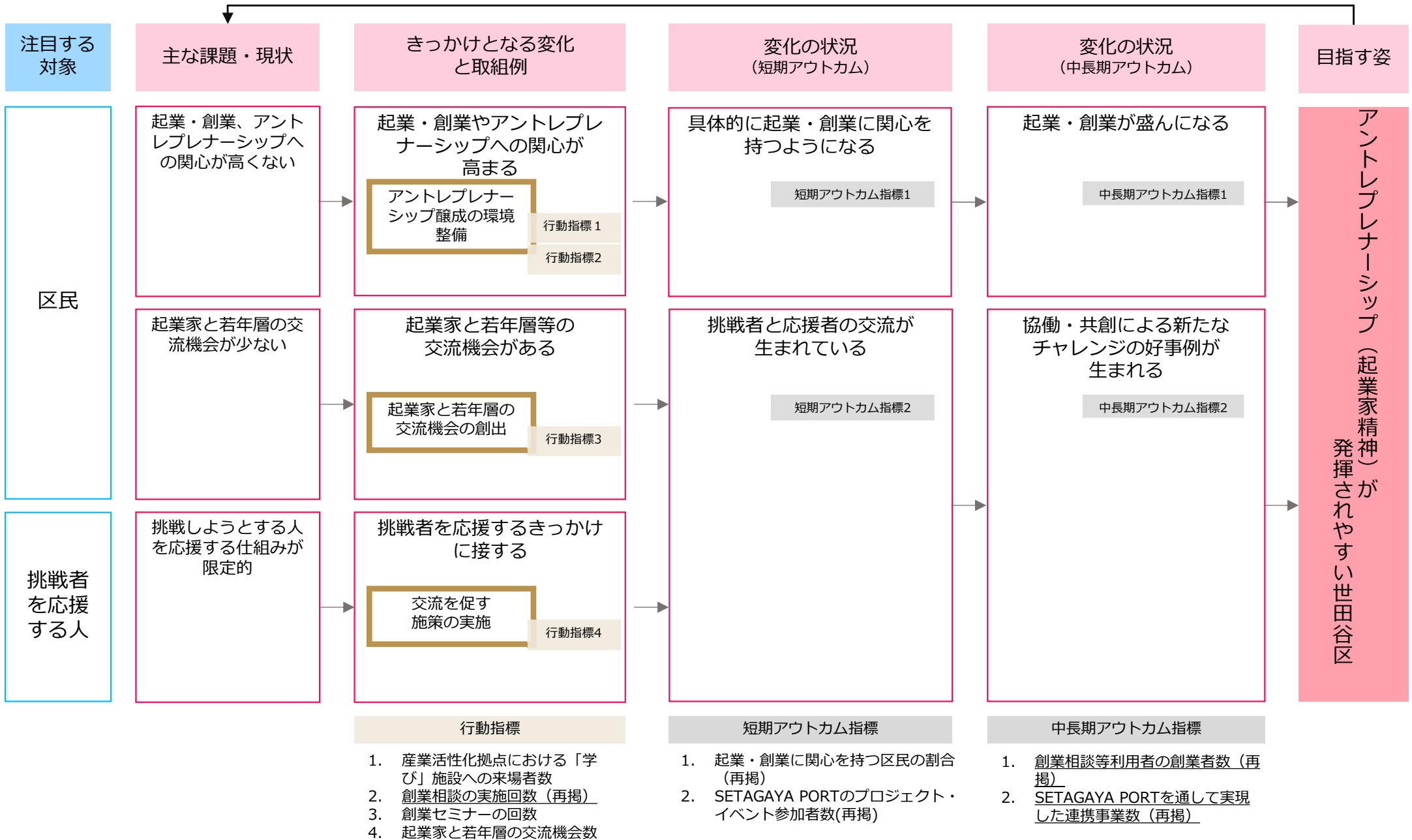
基本の方針1
目指す姿4

区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る
意欲や思いのある人・事業者が積極的にチャレンジできる世田谷区









基本の方針 3 地域及び社会の課題の解決に向けてソーシャルビジネスの推進を図る
 目指す姿 8 地域及び社会課題解決への関心が高く参画しやすい世田谷区
 目指す姿 9 地域及び社会課題解決の取組みが積極的に展開される世田谷区

